

月刊

みやぎのボランティア・市民活動情報誌

2013

2月号

Vol.189

毎月1日発行

杜の伝言板

ゆるる



無心の境地



何を弾こうかな...

災害ボランティア・NPO活動



サポート募金

赤い羽根「災害ボランティア・
NPO活動サポート募金」助成事業

特集

復興への
道

掲載団体

社団法人宮城県ろうあ協会

NPO法人NPOみなとしほがま

奏海の杜

NPO法人Tree Seed

宮城県学童保育緊急支援プロジェクト

NPO法人笑顔のお手伝い

被災地に響いた音のない会話

● 社団法人宮城県ろうあ協会

連絡が取れない地域へ懸命に車を走らせ、仲間の安否を尋ねて歩く。避難所を回り、聴覚障がい者の悩みを聞く。社団法人宮城県ろうあ協会（以下、ろうあ協会）は音のない会話を通じて、被災地の聴覚障がい者支援を行ってきました。

ろうあ協会は、聴覚障がい者の情報保障支援や社会参加促進を目的に、手話通訳者の養成・派遣事業や情報紙の発行、生活訓練などの事業を行っている団体です。東日本大震災の翌日には、宮城県手話通訳問題研究会と共に「東日本大震災聴覚障害者救援宮城本部（以下、救援宮城本部）」を立ち上げ、被災した聴覚障がい者の支援にあたりました。

ひとりひとりに寄り添う

被災した聴覚障がい者はどんな状況に置かれているのか。救援宮城本部を立ち上げると同時に、県内の聴覚障がい者の安否と状況確認を始めた。

聴覚障がい者は、主に視覚から情



▲震災翌日、小泉さんは手話通訳士を介して被災地と連絡を取りました

報を手に入れます。電気を失い、主な情報源であるテレビやパソコンが使えなくなり、さらに携帯電話のメールのやりとりもままならず、必要な情報が遮断されていました。避難所でも連絡や指示が聞こえないために、常に回りの様子を窺わなければなりません。また周囲とのコミュニケーションがうまくとれないため、情報収集や関係作りに大きな困難を抱えていることが見えてきました。

このような現状を受け、救援宮城本部では、ろう者と健聴者がペアになって、避難所や被災者の自宅一軒一軒を手分けして訪問。ニーズや状況を尋ね、支援物資の配布をし、話し相手になり、手話で楽しめるイベントを企画し、ひとりひとりに寄り添う活動を続けてきました。また、手話通訳者や物資提供の情報を掲載した情報紙を作成・配付することで、情報から孤立することを防ぎました。

みみサボみやぎ開所へ

震災から九か月が過ぎ、支援の形が物資中心のものから生活再建へとシフトし始めた昨年一月、「みやぎ被災聴覚障害者情報支援センター（通称みみサボみやぎ）」（※）が立ち上がりました。宮城県による聴覚障がい者情報等支援事業で、聴覚障害者相談員、手話通訳士、要約筆記奉仕員など幅広い人材が揃いました。

みみサボみやぎでは、「情報発信」「相談支援」「つながり作り」を三本柱として、聴覚障がい者が地域の中で安心して暮らすための事業を展開しています。センター開設以来続けている出前講座は「つながり作り」として力を入れている事業の一つ。震災で聴覚障がい者が直面した問題を教訓として、当事者が不便と感じることや、コミュニケーションのコツを多くの健聴者に知ってもらおうと行っているものです。非常時に役立つのはもちろん、ひいてはお互いの暮らす地域環境の向上につながり

ます。

● 平時の暮らしも守れるように

ろうあ協会では、震災以前より県内における聴覚障害者への情報提供施設の設置を訴えてきましたが、今回の震災を受けてその必要性がより顕在化することとなりました。情報提供施設は全国に四〇か所あるものの、宮城県内にはまだありません。ろうあ協会は緊急支援で立ち上がったみみサボみやぎをステップとして、常設の情報提供施設設置へとつなげていきたいと考えています。

「情報は命に直結しています。今回のように情報機器が使えなくなってしまった時、頼りになるのは『人』。手話が分からなくてもジェスチャーで伝わることもたくさんあります。地域におけるつながり作りと理解促進に努めていきたいと思っています」とろうあ協会会長の小泉正壽さんは力強い手話で語りました。

震災復興という目先だけの課題解決にとらわれず、聴覚障がい者の「暮らし」を守るよう、先を見据えた活動を展開していきます。

社団法人宮城県ろうあ協会

〒983-0836 仙台市宮城野区幸町
4-6-2 宮城県障害者福祉センター内
●TEL: 022-293-5531
●FAX: 022-293-5532

（※）二〇一二年一月現在、みみサボみやぎは東日本大震災聴覚障害者救援宮城本部（社団法人宮城県ろうあ協会、NPO法人みやぎ・せんだい中途失聴難聴者協会、宮城県手話通訳問題研究会、NPO法人パソコン要約筆記文字の都仙台等の五団体で構成）が運営しています。

町の埋もれた 歴史・文化を発掘し、活かす

● NPO法人NPOみなとしほがま

あまり知られてはいませんが、港町塩竈の歴史は約一四〇〇年にわたり、その長さは古東京都にも匹敵します。

NPO法人NPOみなとしほがま（以下、みなとしほがま）は、そんな塩竈の古い歴史・文化に関心を抱く有志市民が集まり、塩竈という町が持つ歴史・文化資産を通して町を活性化させようと、二〇〇三年十二月に発足、翌二〇〇四年三月にはNPO法人化しました。その活動は、地元に残る古文書の調査研究、歴史的建造物の保存・活用、塩竈神社を中心としたボランティアガイドなど多岐にわたっています。

震災の実態を写真集に

二〇一一年の東日本大震災では塩竈の市域二二%が浸水し、一万三〇〇軒以上の家屋が被災する事態となりました。みなとしほがまでも震災直後は満足にメンバー間の連絡を取れず、メンバーの自宅や事務所も被災するなど、とても団体

としての活動ができる状況ではありませんでした。

その後、二〇一一年五月頃にメンバーの呼び掛けで、今後の活動についての話し合いが行われます。

まずは中断を余儀なくされていた塩竈神社などのボランティアガイドを二〇一一年六月に復活。当初は少なかった観光客も、秋口から徐々に増え始め、今では震災前の水準にまで回復しました。

また、塩竈は震災により大きな被害を被ったものの、気仙沼や石巻といった他の沿岸地域に比べれば、メディアでの取り扱いが小さい傾向がありました。そこでみなとしほがまは塩竈の震災の記録を埋もれさせてはならないと、十二月からは震災の実態を記録した『写真集「塩竈」東日本大震災の記録』の編集作業を開始しました。地元の人々とのつながりを活かし市民が所有する写真や資料を集め、その記録を後世に伝えようとしたのです。

この写真集は被災から一年半という節目の昨年九月一日に市民から

の協賛金により出版に至りました。

価値ある建物の取り壊し

現在の塩竈にはみなとしほがまが見逃せない問題があります。震災や津波の影響で取り壊されることになった建造物などに、歴史的に価値のあるものがあるからです。

これらの、市内の古い建造物は個人所有のものが多く、その修理には個人としては多額の費用が掛かるのに対して、解体は公費によって無料でできるために保存よりも解体を選ばざるを得ないという事情もあります。また、建築物とともに古文書や古民具も破棄されつつあります。

この事態を憂慮したみなとしほがまは、これまでの保存活動のノウハウを活かし、一つでも多くの建造物や古文書、古民具を残そうと



▲松亀園・竹の間の天井の説明をする事務局長の大和田庄治さん

二〇一一年の十二月頃より動き出しました。

特に今、みなとしほがまが保存活動に力を入れている建築物として、塩竈市本町の古民家「松亀園（旧えびや旅館）」が挙げられます。

幕末・明治初期に建てられたとされるこの建物は、専門家による調査の結果、歴史的文化的に非常に高い価値があるものと判明しました。

しかし現実的には、みなとしほがま単独の活動で松亀園を保存し活用していくのは費用面を含め、容易ではありません。そこでみなとしほがまでは昨年十二月に「しほがま松亀園（旧えびや旅館）保存活用支援基金」を全国に向けて協力を募っており、保存の意義を伝えるために開催した建物見学会などには多数の市民や市外の方々が足を運んでいました。みなとしほがま副理事長の高橋幸三郎さんは次のように復興への決意を語っています。

「歴史文化は、言葉ではなく実物があるからこそ語れるもの。震災で失われたものは多かったです。せめて残されたものを残し、まちづくりに活かすことが自分たちの義務です」

NPO法人NPOみなとしほがま

〒985-0052 塩竈市宮町5-5 亀井邸内

●TEL：022-364-0686

9:00～16:00（水・木休日）

優しいハーモニーを

奏でる地域に

●奏海の杜

東日本大震災における障がい者支援のため設立された被災地障がい者センターみやぎ（以下、センターみやぎ）。その県北支部である被災地障がい者センター南三陸が奏海の杜（かなみのもり）と名前を変えてNPO法人化を目指しています。

南三陸を重点的に支援

奏海の杜は障がい児・者の放課後預かり事業を中心に南三陸で活動する団体です。スタッフ五名（常勤三名、パート二名）はみな南三陸町民ですが、震災前はとくにお互い面識があったわけではありません。

もともとセンターみやぎの県北地域を担当していた現奏海の杜理事長の菊池正明さんが県北地域の障がい児・者へ物資支援を行なっていたことが団体の始まりです。その後、センターみやぎで現地スタッフを雇用することになり、そこに集まったのが現事務局長の太齋京子さん、現主任の小野寺ふさ江さんたち現在の奏海の杜の中心メンバーでした。

しかし、支援を続けるうちに震災以前から南三陸が障がい児・者支援が立ち後れている地域であったことがわかってきました。さらにメンバーが南三陸町に強い愛着を持っていたことなどの事情もあり、昨年六月からはセンターみやぎ県北支部改め、被災地障がい者センター南三陸（以下、センター南三陸）として南三陸を中心に活動することになりました。

地道に実績を積み重ねて

活動を始めてから約一年後の昨年七月、南三陸の仮設住宅を訪問するうちに上がってきた要望に応え、仮設住宅内の障がい児のお世話をすることになりました。また、夏休みには登米にあるセンター南三陸の事務所を利用して、預かりサービスも実施しました。

こうした活動が実を結び、行政や住民から徐々に信用も得られ、学校が二学期に入る九月からは南三陸町の入谷公民館や社会福祉法人の福祉作業所を間借りしての放課後預かり

サービスが可能になりました。

放課後預かりに登録している子どもは十二名で、町内の学校や気仙沼市内の支援学校に通う子どもたちを一度に最大六名預かります。預かり期間中の子どもたちはおやつを食べたり、おもちゃで遊んだりして時間を過ごしています。

スタッフの基本姿勢は「指導」ではなく、「気づき」。悪いことをした子どもには、直接注意するのではなく、その子がいけないことをやったのだと気づくよう促すようにしています。また、保護者との連絡も密に取るようにしており、送迎時には保護者から子どもが家庭に戻ってからの様子を聞き取り、逆に保護者に対してはその日その子がした「よかったこと」を報告します。

まずは制度事業の委託を目指す

現在の活動では、わずかな利用料（放課後預かりの場合、一回一〇〇円）を受け取っていますが、それだけでは収支を賄うことは出来ません。資金の大半は東北関東大震災障害者救援本部（※）からの支援で成り立っています。奏海の杜として自立した活動を行うためには町からの事業委託や国による障がい児・者支援制度の活用が欠かせません。そのため、法人格を得るべくすでにNPO法人申請中（今年一月現在）で、



▲毎週月曜日にのぞみ福祉作業所で行われる放課後預かりの様子

奏海の杜

〒987-0602 登米市中田町上沼西桜場32-1

●TEL/FAX : 0220-44-4171

●E-mail : hisaitikouen@yahoo.co.jp

※認定NPO法人DPI日本会議、全国自立生活センター協議会、NPO法人ゆめ風基金などから構成される障がい者支援ネットワーク

また、待望の南三陸町内への事務所移転も並行して進行中で、今年秋頃に南三陸町へ移ることが目標です。「スタッフは素人同然のところからスタートしていて、今もまだ勉強中です。毎日の関わりを大切に、南三陸が障がいのある無を問わず誰もが暮らしやすい地域になるよう活動を続けたいと思います」と事務局長の太齋さんは笑顔を見せました。

気仙沼の復興を支援する パワフルな若者団体 ● NPO法人Tree Seed

NPO法人Tree Seed(以下、Tree Seed)は、気仙沼市の若者が地域の復興を目指して自ら立ち上げたNPOです。東日本大震災で被災した気仙沼市内で、仮設住宅地の生活支援などの活動を行っています。代表理事の齋藤卓磨さんをはじめ二十歳から四十歳までの「地元に残って地域のために何かしたい」という思いの若者メンバー七人で活動を行っています。

代表の齋藤さんは以前気仙沼でトラック運転手として働いていましたが、震災により失業。その後、被災地でキャッシュフローワークプロジェクト(被災者に働く機会と賃金を提供する自立支援活動)を展開していた認定NPO法人国際ボランティアセンター山形(IVY、山形市)に参加し、IVY気仙沼のマネージャーとして活躍しました。IVY山形の気仙沼における支援プロジェクトは昨年三月で終了しますが、齋藤さんは気仙沼事務局の他のメンバーとともにIVYから独立する形で四月にTree Seedを設立しました。

多様な企画・運営

Tree Seedという名前には「地域に種をまき若者たちの独立を支えたい」という願いが込められています。

Tree Seedは、IVYから引き継いだ、仮設住宅地のコミュニティ形成支援とデイケアの事業を中心として、復興ボランティアのコーディネート、被災地ガイド、ゲストハウス(ボランティア等のための簡易宿泊所)の運営、震災アーカイブ作成支援、防災教育などの活動を行政や地域外の団体との連携を図りながら行っています。IVYの仮設住宅・朝市支援事業を継承した任意団体「アリスボックス」の立ち上げ支援も行ってきました。

仮設住宅地のコミュニティづくりでは、気仙沼市内で一番大きな仮設住宅群である、五右衛門が原でコミュニティ形成の支援事業を行っています。ここではスタッフ三名体制で、産業総合研究所(茨城県つくば市)などから提供を受けたトレーラーハウスを利用して、一部は気仙沼市から緊急雇用事業の委託を受け、買い物支援(日替わりで地元生産者や商店から生鮮食料品や惣菜、衣料品などの出店がある)やコミュニティ形成支援(お茶会や手芸講座の開催など)を行っています。



▲ボプラの木の活動紹介をする副理事長の吉田朋子さん

立的な事業運営をめざって

Tree Seedは、仮設住宅でのコミュニティづくりから介護予防のデイケア事業へつながる地域の高齢者の支援活動を中心に、子どもの教育支援や障がい者の自立支援なども広く行っていきたいと構想しています(精神障がいを抱える若者の雇用には既に取り組んでいます)。母体であるIVYとは会計や事業に関する相談で関係は継続しています。現在とはくに資金的な支援は受けておらず、事業委託料や助成金、自主事業収益で予算立てを行っています。目下の課題は広報に力を入れ、現在約二十名の会員数を増やすことにあるとのことです。

NPO法人Tree Seed

〒988-0053 宮城県気仙沼市田中前2-2-11
●TEL/FAX: 0226-29-6935
●E-mail: ts_kesennuma@yahoo.co.jp
●URL: <http://treeseed.jimdo.com/>

(東北大学大学院経済学研究科佐藤藤典・高浦康有)

子どもたちの普段を取り戻すために

●宮城県学童保育緊急支援プロジェクト

寄稿・代表 池川 尚美さん

学童保育（放課後児童クラブ）は、留守家庭等の子どもの放課後の「生活の場」です。宮城県学童保育緊急支援プロジェクトは、震災後、全国各地の学童保育の保護者、指導員、子どもたちから全国学童保育連絡協議会に寄せられた義捐金を基に、二〇一一年五月、宮城県内の学童保育の支援を目的に設立しました。

●あの日の子学童保育とそれからの日々●

東日本大震災が起きたのは、低学年の子どもたちが学校から帰り始めた頃でした。学童保育では、多くの指導員が学校と協力して、子どもたちの安全の確保に努めました。沿岸部では、子どもたちとともに逃げた避難所で、水が引くまでの数日間、保護者が迎えに来られない子どもたちが、学童保育の子であるかどうかに関係なく、寄り添いました。学童保育のおやつが唯一の食料となり、毛布が高齢者を温めたりと、避難時に指導員が持ち出した物品がたいへん役に立ちました。学童保育が

生活の場であるからこそできたことなのです。家族の事より目の前の子どもの命を守ることを優先にした指導員の中には、保育中に子どもとともに尊い命を落とした指導員もいましたし、ご家族や自宅を流された方たちも多くいます。

震災直後に再開した学童保育所では、指導員自身も被災者でありながら、懸命に子どもとその家族を支えていました。食料が手に入らず朝ごはんも食わずに来る子、避難所でお弁当が用意できない子たちに、支援品や指導員が各家庭から持ち寄った食材で昼食を作り食べさせたところもあります。避難所や仮設住宅から、スクールバスで遠い間借り先の学校に通い、学校でも家庭でも我慢を強いられている子たち。津波ごっこに代表される被災地特有の子どもの行動も見られ、指導員の負担は大きいものでしたが、自分自身も被災者として、避難所生活のこと、子どもへの思いやこれからの生活等々、保護者と沢山の話を重ね、その思いに寄り添ってきたと言います。

子どもの生活を守り支えることを通して、子育て支援をする、まさしく学童保育の本質が問われた時期でした。

●指導員のケアを支援の柱に●

震災後の子どものケアには、何よりも身近なおとなとの関係性が重要だと私たちは考えています。

そこで、重要な支援者でありながら、自らも被災し傷ついている学童保育指導員のケアを柱に、子どもたちの日常生活の回復を第一とした支援活動を進めています。

震災以来休む間もなく仕事をし、震災当時の話をする余裕もないままに過ごしていた指導員が、互いに語り合う場を設けたことで癒され、気力を取り戻していききました。さらに、全国のベテラン指導員を講師に招き、子どもにとって学童保育とはどんな場なのか、指導員の仕事とは何



▲2011年5月に七ヶ浜で行われた指導員との懇談会

かという研修会を開催することで、仕事への自信をなくしたり、方向性を見失ったりしていた指導員も、仕事に確信を持つて取り組めるようになっていきます。気がかりな学童クラブや指導員を訪問し、学童保育の仲間として話を聞き、状況に応じた助言をすることは、指導員のケアに大きな効果をもたらしました。

こうした活動には、全国の学童保育関係者、宮城県や各自治体担当課、NGO等の協力が大きな力となっています。

●復興にむけ、支援から共助へ●

担当課や指導員同士が自然とながらうよう、会場確保や交流会の設定などを現地においてお願いすることもしてきました。その結果、学童保育専門誌のグループ購読や自主研修会の試みなど、各地で自発的な動きが見られるようになり、学童保育の輪が広がり始めています。こうした動きを大切にし、今後も、全県的な学童保育のネットワーク形成を帰着点に、支援活動を続けていきます。

宮城県学童保育緊急支援プロジェクト

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5

みやぎNPOプラザNo.17

●TEL: 090-1930-4908

●E-mail: miyagi_gakudou0311@yahoo.co.jp

多文化共生のまちづくりへ

● NPO法人笑顔のお手伝い

「清拭、褥瘡、仰臥位……」

日本人でもなかなか読めない日本語を声に出しているのは石巻市在住の外国人女性たち。一月十六日の石巻市向陽コミュニティセンターで行われた外国人被災者支援センターによる「ホームヘルパー二級取得のための日本語教室」の光景です。この日はフィリピン人、中国人合わせて五名の外国人女性がヘルパー用語を学んでいました。

この教室は、NPO法人笑顔のお手伝い（以下、笑顔のお手伝い）が「外国人被災者支援センター」として、昨年の十二月に開始したものです。

●●● 外国人の暮らしを支えたい！ ●●●

笑顔のお手伝いは国際結婚や子どもの健全育成を目的に二〇〇九年に設立され、二〇一〇年五月にNPO法人として認証された団体。理事長の千葉義信さんは旅行会社に二十五年勤務し、自治体などの海外交流事業も手掛けてきました。その関係で国際結婚について相談を受けること



▲英語も交えながらヘルパー用語の解説をする理事長の千葉さん

が増え、調べていくうちに、日本には外国人にとって暮らしにくい制度が多数あることを知りました。そこで、子ども達の健全育成と外国人支援を行う笑顔のお手伝いを設立。お寺や自治会など地域の集まりなどに呼ばれ、国際結婚に関する講演などを行ってきました。

そんな中で起きた震災。三月中は、「今は外国人も日本人もない、地域でできることをしよう」と地域で被災したお年寄りを訪問し、罹災証明の取得などを手伝いました。

また、韓国の知り合いから物資提

供の話があり、韓国領事館のバスの提供もあり三月末に物資が到着。ガソリンが手に入るようになった四月初めから物資を持って避難所をまわり情報収集を始めました。

●●● 被災外国人の調査を実施 ●●●

二〇一一年七月には、韓国のキリスト教関係者の視察に同行。それがきっかけとなり、海外のキリスト教会の支援を受け、「外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会」と「仙台キリスト教連合被災ネットワーク」の三者で「外国人被災者支援プロジェクト」を立ち上げ、被災外国人の調査並びに自立支援、加えて情報共有とネットワークの構築に取り組むことになりました。プロジェクトでは前述の二団体のバックアップのもと、笑顔のお手伝いが実働部隊として動きました。

始めは南三陸町に入り、仮設住宅を全戸訪問して現地の外国人の調査を行いました。続いて石巻でも同様に外国人被災者を探し出し、アンケートを実施してきました。

そのアンケートの裏面は支援の希望を聞く記名式です。通常、記名のアンケートは回収率が落ちるものですが、このアンケートには対象者の約半数が記名で回答。支援を渴望する心の声が反映される結果となりました。そこで希望者の一人一人

に対して、自治体と協働しながら個々の問題を解決するパーソナルサポートを続けてきました。

●●● 経済的自立へ向けた支援を ●●●

この調査とパーソナルサポートから経済的困窮とその根幹である就労問題が被災地の外国人が抱える喫緊の課題として見えてきました。外国人の多くは女性で、将来的に自らが子育てをしながら一家を支えていかなければならない事情を抱えています。そこに加えて、被災地で外国人女性が安定した職を得ることの難しさがあります。

そこで、笑顔のお手伝いでは、就労の基盤となる日本語教室やパソコン教室を開催したり、外国人労働者の需要が見込まれる介護業界への就労支援に力を入れているのです。

笑顔のお手伝いが目指すのは外国人支援の『ハブ空港』。高齢者や障がい者など同じような災害弱者に比べ、支援が行き届いていない外国人に対して、様々な分野のNPOと連携して支援ネットワークを作りたいと考えています。

NPO法人笑顔のお手伝い

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡17-3-305

●TEL/FAX: 022-297-1033

●URL: <http://www.npo-egao.x0.com/>

ロッカー・レターケース使用団体を募集します!

～団体に合った使用方法を見つけましょう～

みやぎNPOプラザ（以下プラザ）では、県内のNPOが使用出来る「ロッカー」と「レターケース」の貸し出しを行っています。それぞれ団体内の荷物の保管や郵便物の受け取りを円滑にするために設置しているものです。

登記上、事務所を持つていても、その事務所を団体の代表宅などの個人宅にしている団体もいます。そのような団体は荷物の受け渡しの際、お互いの日程を調整する必要があり、活動に支障をきたすことがあります。

また、団体の住所として個人宅の情報を公開することに抵抗を感じている方もいます。

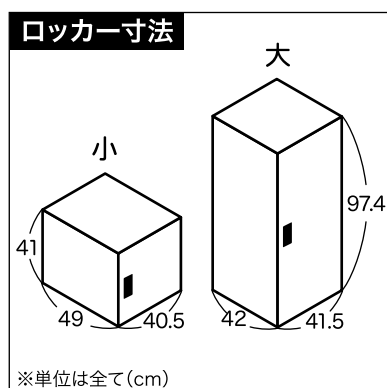
そこで、ロッカーやレターケースを団体の所有物の保管場所や連絡先として活用することで、より充実した活動が行えるよう提供しています。

様々な用途で 使用できるロッカー

ロッカーは大と小の二種類があります。ともにA3用紙やノートパソコンが入る大きさです。ロッカーの寸法に関しては図を参照ください。

どちらも暗証番号を入力することで、開け閉めが出来る鍵が付いています。この鍵の暗証番号を共有することで、いつでも会員同士の荷物のやり取りが可能です。

また、プラザの交流サロンや作業室といった施設を利用する団



体には、会報や書類、事務用品をロッカーに保管することで、プラザ内の作業がしやすくなる利点もあります。プラザの印刷機を使用する際は紙の持ち込みが必要ですが、紙をロッカーに入れておけば、わざわざ紙を持ち運ぶ必要もありません。

このように、団体の活動に合わせて工夫することで、作業が効率になります。

ロッカーの使用料は大が月額五〇〇円、小が月額二〇〇円です。原則一団体につき、大小いずれか一台が使用可能です。

私書箱のように 使えるレターケース

レターケースは、団体の郵便

受け取り用の住所として使うことが出来ます。

また、郵便物の受け取りとして使用出来るだけではなく、FAXの受け取りや、レターケースを利用している団体同士での情報交換にも使えます。ただし、書留郵便物など受け取りにサインを必要とするものや、レターケースに収まらないサイズの送付物などは取り次ぎができません。

レターケースは原則一団体に付き一台、無料で使用できます。レターケースの申込受付期間は、二月十九日(火)から三月二十六日(火)までです。

現在使用している団体は、改めて平成二十五年度の使用申し込み手続きがあれば、四月以降継続して同番号のレターケースが使用可能です。

団体に適した活用方法を

NPO法人はざーる太白社会事業センター（略称ビートスイツチ）は年齢や障がいの有無にかかわらず、分け隔てない生活ができる環境づくり、社会参加に寄与することを目的に活動している団体で、活動の一つとしてパソコン教室を開いています。

プラザの事務ブース入居をきっかけに、ロッカーとレターケースの使用を開始しました。副代表理事の沼田光政さんは団体としての利用方法を次のように話します。「ロッカーはメモや会議室の使

用許可書を内扉に貼り、会員同士が情報交換に利用しています。また、レターケースは団体の連絡先、書類の授受に利用しています」プラザでロッカーやレターケースを使用する際に、ついでにメンバーと打ち合わせをしたり講習機材の利用もできると好評です。



▲ロッカーを使用する沼田さんの様子

応募について

使用を希望する団体は、所定の申込書と団体の概要が分かる資料の提出が必要です。県内で活動するNPOや市民活動団体（法人格の有無は不問）が応募可能です。NPO法人以外の団体は使用対象となるかどうかプラザで協議をお願いします。

募集要項（申込書等）はプラザ窓口で配布しているほか、「みやぎNPO情報ネット」からのダウンロードも可能です。

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者：(特活)杜の伝言板ゆるる)

TEL: 022-256-0505 FAX: 022-256-0533

E-mail: npo@miyagi-npo.gr.jp

市民国際交流事業補助金(平成25年度)

- 補助対象：広く市民(海外にあっては現地の市民)に対して、異文化理解や国際協力及び地域の国際交流を促進することを目的とする事業
- 対象団体：主に仙台市内で活動し、団体構成員の過半数が仙台市在住又は通勤・通学している非営利団体
- 対象期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日
- 補助金額：上限10万円
※補助対象金額により交付額の上限が異なります
- 募集締切：第1期 2月28日(木) 必着
※申込書は仙台国際センターで配布している他、当協会HPからもダウンロード可能です
- 連絡先：財団法人仙台国際交流協会
TEL：022-265-2480 FAX：022-265-2485
E-mail：ogino@sira.or.jp

赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」助成事業 地域ボランティア活動支援事業

- 助成対象：被災地における地元のグループによる助け合い活動
- 対象団体：宮城県において、地元住民のグループ等による助けあい活動を行う住民団体やボランティアグループ、NPO法人等であって、宮城県に所在し県民5名以上で構成されている非営利団体
- 助成金額：1団体につき、1回につき上限10万円
- 募集締切：2月28日(木) 必着
- 連絡先：社会福祉法人宮城県共同募金会
〒984-0051 仙台市若林区新寺1-4-28
TEL：022-292-5001 FAX 022-292-5002
URL：http://www.akaihane-miyagi.or.jp/

第14回 社会貢献基金助成

- 助成対象：1)「婚礼(結婚式)、葬儀(お葬式)など儀式文化の調査研究」事業
2)高齢者福祉事業 3)障害者福祉事業
4)児童福祉事業 5)環境・文化財保全事業
6)国際協力・交流事業
- 対象団体：日本国内に事務所を置く、3年以上の活動実績を持つ非営利組織、大学、研究機関(個人も可)
※条件の詳細はHPにて募集要項をご参照ください
- 助成金額：1)上限100万円
2)～6)上限200万円(総額約1,000万円)
- 助成期間：平成25年度内に行われる事業
- 募集締切：2月末日 必着
- 連絡先：社団法人全日本冠婚葬祭互助協会
〒105-0004 東京都港区新橋1-18-16
日本生命新橋ビル9F
TEL:03-3596-0061(メールでの問い合わせは不可)

2013年度(第11回) ドコモ市民活動団体への助成

- 助成対象：「子どもを守る」をテーマに子どもたちの健やかな育ちを応援する活動
- 対象団体：(1)日本国内に活動拠点を有する民間の非営利活動団体でNPO法人などの法人格を有するもの、または取得申請中の団体で7月末までに法人登

記が完了見込みの団体。なお、活動実績が2年以上であること(法人格を有する以前の活動実績を含む)。

(2)複数の団体が連携した協働事業の場合は、代表申請団体が上記(1)の要件を満たしていることを条件とします。

※条件の詳細はHPを参照願います。

- 対象期間：2013年10月1日～2014年9月30日に実施する活動
- 助成金額：1団体あたりの標準助成額50万円、最高200万円(総額2,500万円予定)
- 募集締切：3月29日(金) 必着
- 連絡先：NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド
〒100-6150 東京都千代田区永田町2-11-1
山王パークタワー 29階
TEL：03-3509-7651(平日10:00～18:00)
E-mail：info@mcfund.or.jp

障害者市民防災活動に対する助成

- 助成対象：1)障害当事者が中心となる防災活動(避難所・避難行動体験や啓発・学習活動)
※体験や学習会の講師やアドバイザーを派遣します
2)防災を通じて障害者市民と地域住民とのネットワークがつくられ、日常の活動にもつながる取り組み
3)災害時に障害者支援を行うための具体的な仕組みづくり
4)障害当事者の声を反映した防災の研究活動
5)その他障害者市民防災に役立つ活動
- 助成金額：1事業の限度額10万円
※単年度(1月～12月)で助成額が100万円に達した時点で締め切ります。
- 募集締切：随時受付
(ただし、事業実施の3ヶ月以前の申請が必要)
- 連絡先：NPO法人ゆめ風基金
〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-13-43-106
TEL：06-6324-7702 FAX：06-6321-5662
E-mail：yumekaze@nifty.com

被災地の子どものための支援プログラム LUSH FunD

- 助成対象：東日本大震災により困難な状況で生活している子どもたちに、楽しみやレクリエーション活動を届ける活動
- 対象団体：東日本大震災の被災者および被災地復興支援の実績がある団体。法人格の有無は不問。公式HPより「ラッシュジャパン ハッピーシェアプログラム」ページの助成ガイドライン、申請フォーム、「ラッシュの信念」を必ずご確認ください。
- 助成金額：10万～200万円(金額はチャリティ商品の売り上げにより変更の可能性があります)
- 募集締切：毎月月末 消印有効
- 連絡先：株式会社ラッシュジャパン FunD事務局
〒108-0075 東京都港区港南2-4-15
品川サンケイビル4階
TEL：03-5781-9567(月～金曜 11:00～17:00)
E-mail：charity@lush.co.jp

るべき公的面会交流支援事業に関する具体的検討を行います。つきましては、今後の被災地における親子の面会交流を考える機会として、支援者・当事者の方々と始め、広く離婚と子ども問題に興味・関心のある皆様方のご参加を歓迎致します。

- 日 時：2月23日(土) 14:30～16:30(14:15開場)
- 場 所：仙台市青年文化センター 研修室3
- 講 師：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター、臨床心理士、行政書士、弁護士等
- 対 象：離婚により子どもとの面会交流が困難となった当事者、面会交流事業の支援者、その他交流支援事業に関心のある方
- 定 員：27名
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先までご連絡ください
- 主 催：我が子に会いたい親の会
- 連 絡 先：TEL:090-7334-7361 FAX:0463-67-6297
E-mail: yandk55@gmail.com
URL: http://wagakonokai.jimdo.com/

3/2 米粉で簡単♪ 桜もち&イチゴ大福作り

いよいよ、ひな祭りの季節がやってきました！今回は米粉で「桜もち」と「イチゴ大福」を作ります。米粉はしっとり、もちもちとした食感と自然な甘みが特徴です。お菓子をはじめ、パン、ピザや麺類などさまざまな料理にアレンジできます(米粉のレシピも紹介します)。ひな祭りに桜もちとイチゴ大福を作ってお祝いしませんか？

- 日 時：3月2日(土) 13:30～14:30
- 場 所：フォレスト仙台ビル5F MELON事務局内スペース 通称「MELONcafe」(仙台市青葉区柏木1-2-45)
- 定 員：10名(申込先着順)
- 参 加 費：一般400円 MELON会員300円
- 申込方法：参加日時、氏名、連絡先、一般or会員を明記の上、電話、FAX、メールにて申込
- 持 ち 物：エプロン、タンブラー or マイカップ
- 主 催：公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
- 連 絡 先：〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45
フォレスト仙台5階
TEL:022-276-5118 FAX:022-219-5713
E-mail: melon@miyagi.jp.npo.org

3/3 「こころと〜く」 語り合い+持ち帰れるこものづくり

震災からの復興がすすむなか、家庭や職場、地域でも、つい

つい頑張りすぎてしまう30～40代の女性たち。「こころと〜く」は、そんな“わたし”をいたわる場です。

- 日 時：3月3日(日) 10:00～12:30
- 場 所：エル・ソーラ仙台 サポートルーム(アエル29F)
- 対 象：30～40代の女性
- 定 員：15名
- 参 加 費：500円
- 託 児：要申込
※先着順、定員になり次第締切
※対象：6か月以上小1まで
※託児利用料：300円(子ども1人/1回)
- 申込方法：2月6日(水)以降、下記連絡先まで申込
- 主 催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 企画協力：おとな女子3040PROJECT
- 連 絡 先：エル・ソーラ仙台
TEL:022-268-8044 FAX:022-268-8045
URL: http://www.sendai-l.jp

3/10 被災地における女性支援者のためのパワーアップ講座 ～被災地宮城の復興に向けて～

3.11からの時間が経過するとともに見えてくる「心の被災」。被災・被害は建造物だけではないはず。被災地で暮らす私たちに何ができるかをこれまで被災地で支援をしてきた女性たちの思いを形に、そして被災地に暮らす私たち自らがパワーアップをし、心の復興そして宮城の復興を目指します。

- 日 時：3月10日(日)10:00～15:45(9:30受付開始)
- 場 所：東京エレクトロンホール宮城
- 内 容：【第1部 午前の部(10:00～)】
「阪神淡路大震災から伝えたいこと」
講師：茂木美知子氏(NPO法人女性と子ども支援センター ウィメンズ・こへ理事)
- 【第2部 午後の部(13:30～)】
「PTSD・トラウマへの支援」
講師：竹之下雅代氏(ウィメンズカウンセリング 京都 カウンセラー)
- 対 象：災害支援関係者、行政関係者、NPO関係者、これから支援を考えている方ほかどなたでも
- 参 加 費：1日受講1000円(軽食・おみやげ付)
半日受講500円
- 申 込：下記連絡先までFAX・郵送・メールにて
- 主 催：NPO活動任意団体 心のさろん
- 連 絡 先：仙台市宮城野区榴ヶ岡5 みやぎNPOプラザ内
TEL/FAX:022-257-1376
E-mail: purin0816@ybb.ne.jp

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です！**
- 締切：毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる

〒983-0852 仙台市宮城野区榴ヶ岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327
e-mail: npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト
「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jp まで

2/20

一歩進みたい初心者向け講座

ICTスクールみやぎ「パソコンで生活をもっと楽しく」
～パソコンやインターネットをもっと
生活に活用してみませんか?～

「思った情報が探せない」「色んな機器があるけど、タブレットって何?」「デジタル写真をパソコンに取り込みたい」「エクセルを使ってみたいけど一人じゃ始められない」そんな経験はありませんか? 旅行をテーマにインターネット検索を体験。パソコンとタブレットの違いを確認します。デジタル写真をパソコンに取り込み、写真を使った季節のお便りを作ってみませんか? 家計簿作成を目標にエクセルを楽しく学びます。親切丁寧な指導を受けながら、パソコンやインターネットを活用しましょう!

- 日 時: 1)2月20日(水)
パソコンで旅行検索をしよう
タブレットを使ってみよう
- 2)3月1日(金)
デジタル写真を楽しもう
ワードではがきを作ろう
- 3)3月8日(金)
表計算を学ぼう
エクセルで家計簿を作ろう
- 連続3週 全日程10:00～15:00(4時間)
※希望する回のみのお申込みも可能です
- 場 所: みやぎ NPO プラザ(仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地)
- 講 師: ICT支援NPOネットワーク宮城所属講師
- 対 象: 文字入力、マウス操作がある程度できる県民
- 定 員: 10名(事前申込先着順)
- 使用機材: Windows7 Office2010
- 受講料: 1日3,000円(テキスト代含む)
手続き後のキャンセルによる返金はありません
- 申込方法: 下記連絡先まで、電話、FAX、E-mailにて申込下さい。折り返しご連絡致します。
- 申込締切: 2月15日(金)
※定員になり次第締切。お早めにお申し込みください
- 主 催: ICT支援NPOネットワーク宮城
- 連絡先: 〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
みやぎNPOプラザ(1階・事務室2)
レターケースNo.39
TEL/FAX: 022-293-7767
E-mail: ict@ictpo-miyagi.jp
URL: http://www.ictpo-miyagi.jp/

2/22

2012年度 復興支援活動報告会

仙台市を中心に復興支援活動を行っている団体のこの1年の活動を報告いただき、これからの復興支援活動の在り方を考えます。

- 日 時: 2月22日(金) 14:00～17:00
- 場 所: 仙台市市民活動サポートセンター 6F セミナーホール
- 対 象: 復興支援活動に関心のある市民の方々
- 定 員: 50名(先着順)
- 参加費: 無料
- 申込方法: 下記連絡先まで電話、または直接窓口にて申込(受付開始: 2月6日(水) 9:00～)
- 主 催: 仙台市
- 企画・実施: NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
- 連絡先: 仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3
TEL: 022-212-3010 FAX: 022-268-4042

2/22

ラフターヨガ(笑うヨガ) でみんな元気に!

「ラフターヨガ(笑うヨガ)」は笑いヨガの呼吸法を組み合わせたエクササイズです。笑うことで多くの酸素を自然に体に取り入れるようになり、心身共にすっきりし、元気になることができます。だれでもすぐにでき、冗談、ユーモア、コメディに頼らない「ただ笑うだけ」の画期的なエクササイズです。ラフターヨガを行うことで、心身共に元気になることが医学的にも実証されています。

- 日 時: 2月22日(金) 14:00～15:30
- 場 所: 鶴ヶ谷市民センター 会議室(みやぎ生協鶴ヶ谷店 2F)
- 講 師: 斎藤邦彦氏(Dr.Kataria School of Laughter Yoga
公認ラフターヨガリーダー、宮城野文化ホール館長)
- 持 ち 物: タオル、飲料水、軽装(裸足になったり寝転んだりするため)
- 参加費: 無料
- 主 催: つるがや元気会
- 連絡先: ひまわり手芸店(担当: 芦澤)
TEL: 022-251-5663

2/23

土曜介護講座

平日の受講が難しい方のための、介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座です。

- 日 時: 2月23日(土) 10:00～15:00
- 場 所: 仙台市シルバーセンター 6F 第2研修室
- 内 容: 高齢者の栄養と食事、分かりやすい口腔ケア
- 対 象: 仙台市内にお住まいかお勤めの方
- 定 員: 40名(先着順)
- 参加費: 500円(介護テキスト代、希望者のみ)
- 申込方法: 講座名、氏名、電話番号を明記の上、下記連絡先まで申込
- 主 催: 財団法人仙台市健康福祉事業団
- 連絡先: 仙台市健康福祉事業団介護研修室
(仙台市シルバーセンター内)
TEL: 022-215-3711 FAX: 022-215-3718

2/23

みんなつながれ! 杜の子まつり 関連イベント フォーラムディスカッション～アートで つなぐ子どもの笑顔⇒人×地域2013～

震災から約2年。2012年から行ってきた、「みんなつながれ! 杜の子まつり」の報告と、子どもたちの未来。支援に関わってきた人や支援を受け入れた側の話など、皆でワールドカフェ風に話してこれからにつなげましょう。(中・高・大生、大歓迎!)

- 日 時: 2013年2月23日(土) 13:30～16:30(13:00開場)
- 場 所: エルパーク仙台 5階セミナーホール
- 報告者: 石巻市教育委員会 社会教育主事 坂本忠厚氏 他
- 主 催: NPO法人せんだい杜の子ども劇場
- 連絡先: 〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-17-1
TEL/FAX: 022-375-3548
E-mail: morinokodomo@s8.dion.ne.jp
URL: http://www.ab.auone-net.jp/~senmori8/

2/23

我が子に会いたい親の会主催 公開ミーティング 被災地における離婚と子ども 面会交流支援事業 検討会

当会では先般11月に実施された「面会交流支援員のためのモデル研修」に引き続き、仙台市等政令指定都市にて実施され

- 申込方法：所定の申込書を記入の上、FAXまたはTELにて下記連絡先まで申込
- 主催：仙台市シニア活動支援センター
- 連絡先：(担当：小林、葛西、小松)
〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3
仙台市市民活動サポートセンター3階
TEL：022-217-3983 FAX：022-217-3984

2/16 こころも体もポッカポカ セブ宿山 がつこ 冬編

水源のダムで遊ぼう！クロスカントリースキー&かんじき体験！お昼ご飯は森のエネルギーを使って作るよ！

- 日時：2月16日(土)～17日(日)
16日8:15 仙台駅西口大型バス駐車場 集合
17日16:30 仙台駅西口駐車場 解散
※中止の際は、当日の朝7:00までにご連絡します
- 場所：森の遊園地(石釜ピザ水守の郷・セブ宿ダム他)
- 内容：★セブ宿ダム探検・雪遊び(そり・雪合戦)
★ピザ焼き・そば打ち体験 ★間伐・炭焼き体験
★クロスカントリースキー など
- 対象：小学生から中学生 ※保護者同伴も可
- 定員：20名 ※先着順
- 参加費：6,500円(食事:昼2回・朝晩1回、バス往復、宿泊、保険含む)
- 持ち物：箸、お椀、取り皿、軍手、筆記用具、雨具、ビニール袋、着替え、タオル
- 服装：汚れてもいい動きやすい服装(長袖長ズボン)と長靴、帽子、両手が空いた状態になるよう荷物はリュックサック等でお越しく下さい。防寒対策を厳重にお願いします
- 連絡先：NPO法人水守の郷・セブ宿
- 申込方法：参加者の名前、連絡先、生年月日、参加する日を明記の上、FAXにて申込
〒989-0532 セブ宿町根添26-1
TEL：0224-37-2171 FAX：0224-37-2130
E-mail：mmmnet7@yahoo.co.jp
URL：http://mizumori7.org

2/16 第22回 フリースクール合同教育セミナー 「不登校・発達障がい 成功するための高校入試!!」

私たちフリースクールは、教育と学習支援を中心とし、不登校児童生徒などの学校復帰と社会での自立を目標にサポートを行って参りました。震災を受けた児童生徒も含め、不登校、発達障がい、引きこもりの方の学校復帰、社会的自立の仕方を、私たちの長年に渡る活動実績から提言していきます。

縦覧中

NPO法人の設立を新しく申請した団体			
団体名	所在地	活動内容	受理日
奏海の杜	登米市	障がい児・者などへの支援活動とおとし、健全で安全な地域社会の実現と地域振興への寄与	12/12
地星社	岩沼市	市民活動に関する相談、コンサルティング及び情報収集・情報提供	12/17
東松島市芸術文化振興会	東松島市	多様な芸術文化活動を展開し、芸術文化の振興を図る活動	12/19
総合武道拳聖	刈田郡蔵王町	空手道等のスポーツ教室を通じたスポーツ振興、海外からの短期ホームステイ	12/25
仙台進路指導塾	塩竈市	若年者や求職者への就労に関するサポート、スポーツ等を通じた青少年の健全育成	12/27
海への森をつくる会	気仙沼市	自然環境の回復及び震災の記憶を風化させず、未来へ繋いでいくための植樹活動	12/27
みなとまちセラミカ工房	杜鹿郡女川町	ものづくりの場を提供し、創造活動を支援する活動	12/28
とめ市民活動フォーラム	登米市	多様な分野の市民活動やコミュニティ活動の支援	1/7
日本災害対応住宅研究会	青葉区	調査研究事業、レポートや出版物等の発行事業、セミナーやワークショップ等イベントの企画・運営事業等	12/7
シュエット	青葉区	社会教育に関する講習会、講演会その他集会を開催する事業、まちづくりに関する講習会、講演会その他集会を開催する事業等	12/26

- 日時：2月16日(土) 10:00～12:00
- 場所：仙台市太白区中央市民センター(たいはくくる)
- 内容：★第1部 通信制高校の実例から
講師：斎藤幸氏
(星槎国際高等学校仙台学習センター センター長)
★第2部 フリースクールの実例から
講師：石川昌征氏(フリースクールだいと代表)
土佐昭一郎氏(ミヤギユースセンター代表)
★第3部 シンポジウム、質疑応答、個別相談
参加者の皆さんからの質問や個別相談に3名の講師が対応します
- 定員：30名(予約優先、当日参加可能)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先まで申込
- 主催：フリースクールだいと、NPO法人ミヤギユースセンター
- 連絡先：フリースクールだいと
〒982-0003 仙台市太白区郡山6-2-2
TEL/FAX：022-249-4023
ミヤギユースセンター
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2-2-8-203
TEL/FAX：022-256-7977

2/16 “第9回 フォーラム食の寺子屋2013” 「いま、あらためて考える魅力的な産直とは」

中間流通ルートを通さずに生産品を入手できることが魅力の“産直”。震災後の今だからこそ、あらためて食と農のつながりを見直したい…。地元の食をささえる生産者の思いは？消費者がいま考えるべきこととは？そして生産者と消費者の心の距離をもっと近づけるには？今回の「食の寺子屋」では生産者、料理人、消費者のそれぞれの皆さんの立場から、存分に語っていただきます。

- 日時：2月16日(土) 13:30～16:00
- 場所：仙台市市民活動サポートセンター 6F セミナーホール
- トークゲスト：和田智子氏(ともちゃんの野菜畑)
結城誠子氏(野菜料理のお店 Madeni)
中山朋子氏(農家の妻)
- 進行役：斎藤緑氏(せんだい食農交流ネットワーク代表理事、シニア野菜ソムリエ)
- 参加費：無料
- 申込方法：名前、年齢、性別、住所、電話番号を明記の上、メールまたはFAXにて申込
- 主催：せんだい食農交流ネットワーク
- 連絡先：TEL/FAX：022-279-2540
E-mail：info@syokunou.org
URL：http://syokunou.org

仙 台 市	コ・クリエーションセンター	宮城野区	モニュメント建造物の共創事業、子供・親の教育支援事業、被災者・支援者の交流事業	12/26
仙 台 市	シニアサロン井戸端会議	青葉区	地域コミュニティ形成に係る事業、事業創出及び雇用創出に係る事業、健康増進に係る事業等	12/28
NPO法人に認証された団体				
団体名	所在地	活動内容	認証日	
東日本パイロット協会	栗原市	各種スポーツ航空に関するレクリエーション事業	11/21	
東松島市体育協会	東松島市	生涯スポーツの振興と競技力の向上に関する事業を行う	12/11	
大郷ファーム	刈田郡大郷町	障害福祉サービス事業を行う	12/12	
ハピふるWedding	登米市	地域後継者の地元への定着のため、結婚の支援及びウェディングプロデュースを行う	12/17	
しんりん	栗原市	森林資源を活用した地域全体の経済活性化や雇用創出の事業等、その他森林資源の効率的利用に伴う物品の販売事業等を行う	12/28	
災害医療ACT研究所	石巻市	災害時における被災地の医療支援のあり方を研究し、災害医療の発展に寄与する事業を行う	1/8	
東北サイコウBANK	宮城野区	支援金、寄付金の運営管理事業、販売支援並びにコンサルティング事業、農・職・健康の研究開発、普及推進、実践活動事業等	1/9	
宮城県のNPO法人数		691	宮城県等所轄:308団体 仙台市所轄:383団体	
			※2013年1月10日現在	



NPO・市民団体のためのネット活用講座

「団体の情報発信力を高めたい」と考えているNPO・市民団体の方にチャンス到来です。石巻でインターネットを使った講座が開催されます。「費用が高いのでは？」という心配も不要。今回無料で受講できます。この機会にインターネットを活用してあなたの団体の情報発信を強化してみませんか？

【CANPANブログ作成・更新講座】

- 日 時：2月12日(火) 13:00～16:00
- 内 容：簡単な登録から更新方法、ホームページやSNSとの連携についてご紹介いたします。

【Facebook(フェイスブック)講座】

- 日 時：2月15日(金) 13:00～16:00
- 内 容：簡単な登録から友達の増やし方、更新方法までをご紹介いたします。

【共通事項】

- 場 所：パソコンママネット事務所
(石巻市山下町2-2-50)
- 対 象：NPO、市民団体、サークル活動をされている方。インターネットができる方。簡単なパソコン操作ができる方。
- 定 員：6名
- 参 加 費：無料
- 主 催：NPO法人パソコンママネット
- 連 絡 先：〒986-0873 石巻市山下町2-2-50
TEL：0225-23-0822
URL：http://www.pasomama.com/



市民活動無料相談会

NPO法人の設立に関わることや市民活動団体の運営に関する相談を、経験豊富な専門家が対応します。お気軽にご相談ください。

- 日 時：2月14日(木)10:00～18:00(1団体約1時間)
- 場 所：とめ市民活動プラザ(下記連絡先参照)
- 申込方法：下記連絡先までお問い合わせください
- 主 催：とめ市民活動支援協議会
- 連 絡 先：とめ市民活動プラザ
〒987-0511 登米市迫町佐沼字南元丁41-5
TEL/FAX:0220-44-4167
E-mail：npo@tome-shiminplaza.jp
URL：http://blog.canpan.info/tomepura/



疲れた心を休ませて、子育て力のパワーチャージ講座 子育て 雨宿り

震災により被災した状況の中、気持ちに余裕が持てない、不安や悩みを解決できずに毎日の子育てに追われている、慣れない土地での子育ては大変、自分だけで抱えてしまっている…。そんなママ達、気分リフレッシュ！ 親子でほっこりして下さい。

- 日 時：2月15日(金) 10:00～11:30
- 場 所：宮城野区中央市民センター 3F 和室1
- 内 容：★育児セラピストによる
親子アタッチメント(ふれあい体操・マッサージ)
音楽サブリとストレッチ(自律神経を整える・無理なく体を動かす)
★おもちゃコンサルタントマスターによる手作

りおもちゃと遊び(簡単な手作りおもちゃの講習と遊びについての講話)

★カフェタイム～リラックスしながらお話ししましょう～

お好きなドリンク&スイーツ 子供用の飲み物&おやつをどうぞ

- 対 象：被災家庭の親子(ママだけの参加も可)
- 定 員：20組(先着順)
- 参 加 費：300円(おやつ、飲み物代など)
- 申込方法：下記連絡先まで申込
- 主 催：NPO法人おひさまキッズ
- 共 催：支えあいセンターみやぎの
- 連 絡 先：NPO法人おひさまキッズ

TEL：022-291-1916、090-9741-6334

E-mail：ohisamakids@gmail.com

URL：http://www5.plala.or.jp/ohisamakids/



視覚障害者への移動サポート ミニ講座

「目の不自由な方を街で見かけたとき、助けてあげたいと思ったけれど何をどうしたらいいかわからなかった…」こんな経験をお持ちの方はいらっしゃいませんか？目の不自由な方へのちょっとしたガイドの方法や気配りのポイントはどんなことでしょうか。この講座では実習を中心にしながら初歩的な技術を学んでいきます。

- 日 時：2月15日(金) 10:00～12:00(受付9:45～)
- 場 所：仙台市泉社会福祉センター 2F 大会議室1
(仙台市泉区七北田字道48-12)
- 内 容：★講義 視覚障害とは
見えにくさのさまざまな状態
★実習 歩行ガイドの基本
階段を昇り降りする時の介助、席への誘導など
- 定 員：10名(先着順)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：氏名(ふりがな)、住所、電話番号、勤務先・所属等(あれば)を明記の上、下記連絡先まで申込
※申込受付：2月6日(水)～
- 主 催：NPO法人アイサポート仙台
- 連 絡 先：仙台市中途視覚障害者支援センター
〒984-0073 仙台市若林区荒町215
荒町中央ビル1F
TEL：022-212-1131 FAX：022-212-1136
E-mail：sisien@sky.plala.or.jp



仙台市シニア活動支援センター 専門相談

好きなことや特技を活かして、地域の活動や社会貢献をしてみたい方の個別相談会！

- 日 時：2月16日(土) 10:00～16:00
相談時間は1名50分程度
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター 3F
- 講 師：谷津秀治氏(SUN英語愛好クラブ)
- 対 象：おおむね55歳以上の方で下記の希望がある方
・これまで培ってきたスキルを活かしたいと考えている方
・趣味や特技を活かし、社会の役に立つ方法を知りたい方
・シニア世代が参加している活動の事例を知りたい方 など
- 定 員：5名(希望時間帯も併せ先着順)
※個別相談、グループも可
- 参 加 費：無料



仙台ピアカウンセリングの集い ～第17回 仲間と共に語る場を持ちませんか～

大震災から1年10ヶ月が過ぎました。あなたの痛んだ心は修復できたでしょうか？一人で悩んでいませんか？こんな時だからこそ話し合える仲間が、話す場が必要なんです！まだハジメの一步を踏み出せないでいるあなた。一步踏み出したけれど立ち止まっているそんなあなた。仲間と経験と力と希望を分かち合い勇気をもって力強く、一步一步共に歩んでいきましょう！

- 日 時：2月10日(日) 14:00～16:00
- 会 場：仙台市福祉プラザ10階 第4研修室
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 対 象：精神障害当事者、健常者であっても今回の大地震で心が痛み、回復が進まず悩んでいる方及び家族に限定(タイプB型例会クローズ方式)
- 内 容：ひたすら体験を語り又聴くことを通して精神疾患や心の悩みからの回復を目指す自助グループの集いです
- 定 員：20名(予約制)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先まで電話またはメールにて申込
要事前申込。予約なしの場合でも席に空きがあれば歓迎
- 主 催：仙台心のケア研究会
- 後 援：仙台市精神保健福祉総合センター
(はあとぽーと仙台)
- 連絡先：TEL：080-3328-7186
E-mail：qqw59pc9k@star.ocn.ne.jp



発達障害児者支援の最前線 ～発達障害概念の広がり支援のあり方を考える～

発達障害概念の広がりに関する世界的な動向をおさえながら、発達障害児者支援システムの基本的な考え方と課題解決に向けたチームアプローチについて、お二人の先生のお話を交えながら考えていきたいと思います。

- 日 時：2月11日(月・祝) 13:30～16:30(開場 13:00)
- 場 所：仙台市福祉プラザ2F ふれあいホール
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 内 容：★講演1「発達障害の早期発見・早期療育システム その基本原理」
講師：本田秀夫氏(山梨県立こころの発達総合支援センター所長、児童精神科医)
★講演2「発達障害者支援センターにおける発達障害児者支援」
講師：岡田祐輔氏(静岡県発達障害者支援センター総合支援部長、小児科医)
コーディネーター：今公弥氏(アーチル嘱託医)

- 定 員：300名
- 参 加 費：無料
- 申込方法：所定の申込用紙に必要事項を明記の上、下記連絡先までFAXにて申込
- 主 催：仙台市発達相談支援センター
- 連絡先：TEL：022-375-0110 FAX：022-375-0142



印刷物デザインレイアウト講座 【フォント・文字配列】&【写真・イラスト】編

地域活動・市民活動の思いが伝わる印刷物を作るために、手に取ってもらい、読んでもらうためのデザイン・レイアウトの基礎と文字・写真・イラストについての基本的な知識を学びましょう。

- 日 時：2月12日(火) 19:00～20:30
場所：仙台市市民活動サポートセンター 研修室2
2月23日(土) 9:30～11:30
場所：多賀城市民活動サポートセンター 会議室302
- 講 師：真山正太氏(グラフィックデザイナー)
- 定 員：各会場15名(申込先着順)
- 参 加 費：1,000円
- 主 催：一般社団法人メディアデザイン
- 連絡先：〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-1-11
朝日プラザ北一番丁1階
TEL：090-3049-0613 FAX：022-224-5308
E-mail：npo@md-sendai.com
URL：http://www.md-sendai.com



ナースアウトin仙台2013 キックオフ 楽しんで母乳育児☆家族のためのバレンタイン・イベント

2013年8月8日11:00に全国同時授乳イベント、ナースアウトin仙台をやります！

今年は市内各所のママスペースで同時開催予定。キックオフでは、開催団体がバレンタインにちなんだブースを作ってお待ちしています。日頃の疲れを癒しながら、ナースアウトのことを知って楽しいひと時をお過ごしください。

- 日 時：2月12日(火) 10:30～
- 場 所：エル・パーク仙台 フィットネススタジオ、調理室
- 内 容：★赤ちゃんヨガ ★ベビーサイン体験会
★親子で作るPAPAへのチョコレート
★赤ちゃん安心♪無添加手作り石鹸作り ほか
- 参 加 費：無料
※予約が必要なものもありますので、事前にご確認ください
- 主 催：ナースアウトin仙台2012実行委員会、こひつじる〜む
- 連絡先：E-mail：2012sendai.nurseout@gmail.com

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2013.1.16現在) 敬称略

●正会員 50名

★大崎市 ●波多野卓司

●賛助会員 92名

★塩釜市 ●NPO法人高齢者サポートチームしおたが

★仙台市 ●有坂紀美江 ●中山歯科

●大國神社の山野草を守る会 横尾匡彦

●福田内科クリニック 院長 福田陽一

★富谷町 ●NPO法人野のゆりホーム

★愛知県岡崎市 ●大久保元博

会 員 募 集

杜の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営や、それに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊杜の伝言板ゆるるは市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	3,000円
賛助会員NPO	5,000円
賛助会員企業・団体	20,000円

■会員には毎月「月刊杜の伝言板ゆるる」が届きます。
※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる
(会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。)

information

1月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

事業案内

なぜ不安、緊張や、あがり症の悩みが解決しないのか？ NPO法人生活の発見会「仙台夜間集談会」

パニック状態になる！人が怖い、手足が震える…など、悩みを抱えている人の集まりです。皆さんで集まり悩みを克服していきましょう

- 開催日時：毎月第3土曜日 17:00～20:00
- 場所：仙台市市民活動サポートセンター
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 主催：仙台夜間集談会
- 連絡先：NPO法人生活の発見会
〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋2-19-4
リバーあみ清ビル2階
TEL：03-6661-3800

個別指導のパソコン教室

完全なマン to マンで受講者が要望する内容が学べる！初めてパソコンに触る方から中級の方まで完全個別指導を行っております。

- 開催日時：毎週水・金 それぞれ午前の部・午後の部あり
(いずれも1回90分)
午前の部：10:30～12:00
午後の部：13:30～15:00
- 場所：サロンわいわい一番町
(青葉区一番町2-5-12 一番町中央ビル8F)
- 受講料：3回分で5000円(会員は割引あり)
- 主催：NPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台
- 申込：下記連絡先までTEL・メール・来所などで希望日の2日前までに事前予約
- 連絡先：〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-5-12
一番町中央ビル8F
TEL：022-266-5650
E-mail：office@sendai-senior.org

電話相談

宮城県臨床心理士会「こころの健康電話相談」

こころを巡る様々な問題が深刻化している今日この頃、また震災というとても大きな出来事を体験した皆様に、実際に臨床心理士と話すという体験を持って頂くことで、日々の生活へ立ち向かう元気を取り戻したり、問題解決への第一歩を踏み出したりするきっかけにして頂くことが願いです。
※相談は無料ですが、通話料金をご負担ください

- 相談電話番号：022-290-6656
- 日時：3月2日(土)17:00～20:00
※原則毎月第1土曜日に開催

- 主催：宮城県臨床心理士会
- 連絡先：事務局
〒986-0836 仙台市宮城野区幸町4-7-2
みやぎいのちと人権リソースセンター内

イベント

2/6 福島ママのためのママともサロン0123

震災後、さまざまな不安を抱えて福島県から仙台に避難してきたママたちで、おしゃべりしませんか？

- 日時：2月6日(水)、3月8日(金) 各10:30～12:30
- 場所：エル・パーク仙台 和室
(仙台三越定禅寺通り館5F)
- 対象：福島県から避難してきた乳幼児をもつ母
- 定員：10名(子どもと一緒に可)
- 託児：10名、無料
※生後6ヶ月～未就学児、エル・パーク仙台子供部屋の部屋にてお預かり
※持ち物：おむつ、着替え、ビニール袋(2枚)、おしりふき、子どもの飲み物
- 申込方法：下記連絡先まで電話、または直接窓口にて申込
※申込開始：開催月の前月7日から
- 主催：NPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク、のびすく仙台
- 連絡先：仙台市子育てふれあいプラザ のびすく仙台
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-10-24
仙台市ガス局ショールーム3F
TEL：022-726-6181 FAX：022-214-5071
URL：http://www.nobisuku-sendai.jp/

2/6 みんなde手しごとプロジェクト事業 貝雛を作る会

貝雛を作ります。お茶もお菓子もごさいます。

- 日時：【午前の部】10:15～12:15
2月6日(水)、8日(金)、13日(水)、15日(金)、21日(木)
【午後の部】13:15～15:15
2月4日(月)、18日(月)
- 場所：WATALIS工房内
(亘理町字中町22番地(白い箱型の建物です))
- 講師：橋元あゆみ氏 斎藤淑子氏
- 定員：先着20名
- 参加費：無料
- 申込方法：下記電話番号までお問い合わせください
直接お越しいただいても結構です
- 主催：宮城県亘理町手しごとプロジェクトWATALIS
- 連絡先：TEL：0223-35-7341

インターネットを活用した会計システム

N-Books

パソコンにインストールするのではなく、インターネットを利用したクラウドサービスの会計システム「N-Books」。パソコンさえあればどこからでもアクセスでき、ID・パスワードを共有すれば、複数の会計担当者が入力できるほか、理事や代表など資金の管理者にとっても現金や預金の流れが確認できるので安心です。もちろんNPO法人会計基準にも準拠!

会計ソフトの導入・見直しをお考えのNPO法人の皆さん、「N-Books」がオススメです!

下記アドレスからサンプルも確認できます

<http://www.ascjp.com/n-books>



POINT 1 インターネットを介して
どこからでもアクセス可能!

※PC(windows)とインターネット環境が必要です



POINT 2 NPO法人会計基準に準拠!

※部門別集計もあります



POINT 3 導入しやすいお手頃価格!

※使用料は毎年10,500円です

科目CD	科目	金額
1	経常増減の部	
1-1	経常収益	
1-1-1	受取人金	
1-1-1-1	受取人金	370,000
1-1-1-2	受取人金	370,000
1-1-1-3	受取人金	
1-1-1-4	受取人金	
1-1-1-5	受取人金	
1-1-1-6	受取人金	
1-1-1-7	受取人金	
1-1-1-8	受取人金	
1-1-1-9	受取人金	
1-1-1-10	受取人金	
1-1-1-11	受取人金	
1-1-1-12	受取人金	
1-1-1-13	受取人金	
1-1-1-14	受取人金	
1-1-1-15	受取人金	
1-1-1-16	受取人金	
1-1-1-17	受取人金	
1-1-1-18	受取人金	
1-1-1-19	受取人金	
1-1-1-20	受取人金	
1-1-1-21	受取人金	
1-1-1-22	受取人金	
1-1-1-23	受取人金	
1-1-1-24	受取人金	
1-1-1-25	受取人金	
1-1-1-26	受取人金	
1-1-1-27	受取人金	
1-1-1-28	受取人金	
1-1-1-29	受取人金	
1-1-1-30	受取人金	
1-1-1-31	受取人金	
1-1-1-32	受取人金	
1-1-1-33	受取人金	
1-1-1-34	受取人金	
1-1-1-35	受取人金	
1-1-1-36	受取人金	
1-1-1-37	受取人金	
1-1-1-38	受取人金	
1-1-1-39	受取人金	
1-1-1-40	受取人金	
1-1-1-41	受取人金	
1-1-1-42	受取人金	
1-1-1-43	受取人金	
1-1-1-44	受取人金	
1-1-1-45	受取人金	
1-1-1-46	受取人金	
1-1-1-47	受取人金	
1-1-1-48	受取人金	
1-1-1-49	受取人金	
1-1-1-50	受取人金	
1-1-1-51	受取人金	
1-1-1-52	受取人金	
1-1-1-53	受取人金	
1-1-1-54	受取人金	
1-1-1-55	受取人金	
1-1-1-56	受取人金	
1-1-1-57	受取人金	
1-1-1-58	受取人金	
1-1-1-59	受取人金	
1-1-1-60	受取人金	
1-1-1-61	受取人金	
1-1-1-62	受取人金	
1-1-1-63	受取人金	
1-1-1-64	受取人金	
1-1-1-65	受取人金	
1-1-1-66	受取人金	
1-1-1-67	受取人金	
1-1-1-68	受取人金	
1-1-1-69	受取人金	
1-1-1-70	受取人金	
1-1-1-71	受取人金	
1-1-1-72	受取人金	
1-1-1-73	受取人金	
1-1-1-74	受取人金	
1-1-1-75	受取人金	
1-1-1-76	受取人金	
1-1-1-77	受取人金	
1-1-1-78	受取人金	
1-1-1-79	受取人金	
1-1-1-80	受取人金	
1-1-1-81	受取人金	
1-1-1-82	受取人金	
1-1-1-83	受取人金	
1-1-1-84	受取人金	
1-1-1-85	受取人金	
1-1-1-86	受取人金	
1-1-1-87	受取人金	
1-1-1-88	受取人金	
1-1-1-89	受取人金	
1-1-1-90	受取人金	
1-1-1-91	受取人金	
1-1-1-92	受取人金	
1-1-1-93	受取人金	
1-1-1-94	受取人金	
1-1-1-95	受取人金	
1-1-1-96	受取人金	
1-1-1-97	受取人金	
1-1-1-98	受取人金	
1-1-1-99	受取人金	
1-1-1-100	受取人金	

N-Booksのサービスは、N-Books推進協議会が提供しています。

申込先・問合せ先：NPO 法人杜の伝言板ゆるる(連絡先は下記をご覧ください)

被災地NPOのための出前専門相談会

in
登米

日時 **2月28日(木)**

10:00 - 11:00 情報提供会

11:00 - 16:00 個別相談

(1団体につき約1時間)

会場 **登米市迫公民館**

相談員 **波多野卓司氏**

(中小企業診断士)

大久保朝江氏

(NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)

「やりたい事業があるがうまくいくだろうか?」「団体の運営に自信がない……」といったお悩み抱えていますか? 団体運営のスペシャリストがそんなお悩みの相談に応じます! 県内各地で開催してきた相談会ですが、今年度は今回がラスト! 心配ごととはっきりさせて新しい年度を迎えましょう!

- 対 象: 県内の市民活動団体および団体設立を考えている方
- 定 員: 情報提供会20名 個別相談8団体
- 参加費: 無料

主催: 宮城県 共催: 登米市 企画・実施・申込先: NPO法人杜の伝言板ゆるる(連絡先は下記をご覧ください)